

【工 I】【地域 I】

(1) $2^x + 2^{-x} = t$ より両辺を 2 乗して整理すると

$$4^x + 4^{-x} = t^2 - 2$$

したがって、与えられた方程式は

$$2(t^2 - 2) - 9t + 14 = 0$$

すなわち $2t^2 - 9t + 10 = 0$

また、 $2^x > 0$, $2^{-x} > 0$ より

相加平均・相乗平均の関係から

$$t \geq 2\sqrt{2^x \cdot 2^{-x}} = 2$$

よって t に関する方程式は

$$2t^2 - 9t + 10 = 0 \quad (t \geq 2) \quad (\text{答})$$

(2) (1)より $(2t - 5)(t - 2) = 0$

$$t = \frac{5}{2}, 2 \quad (t \geq 2 \text{ を満たす}) \quad (\text{答})$$

(3) $t = \frac{5}{2}$ より, $x = \pm 1$

$t = 2$ より, $x = 0$

よって $x = 0, \pm 1$ (答)

【地域Ⅱ】

(1) 線分 AB, AP の垂直二等分線の方程式はそれぞれ

$$y = 5, y = \frac{t}{3}x - \frac{t^2}{6} + \frac{3}{2}$$

この 2 直線の交点が円の中心となるので $\left(\frac{t^2+21}{2t}, 5\right)$ (答)

(2) x 軸との接点を $Q(u, 0)$ ($u > 0$) とおくと、中心は $(u, 5)$ であり、また(1)より

中心は $\left(\frac{u^2+21}{2u}, 5\right)$ でもあるので

$$\frac{u^2+21}{2u} = u$$

$$u > 0 \text{ より } u = \sqrt{21}$$

$$\text{よって } (x - \sqrt{21})^2 + (y - 5)^2 = 25 \text{ (答)}$$

(3) $\triangle ABP$ において $\angle BAP$ は鈍角より $\angle APB$ は鋭角である。

$\triangle ABP$ において正弦定理を用いて

$$\frac{AB}{\sin \angle APB} = 2R \quad (R: \triangle ABP \text{ の外接円の半径})$$

$$\sin \angle APB = \frac{2}{R}$$

$\angle APB$ が鋭角であることより、 $\sin \angle APB$ が最大るとき $\angle APB$ も最大となる。

すなわち R が最小のとき $\angle APB$ は最大となる。

R が最小となるのは外接円が x 軸と接するときであり、(2)より $P(\sqrt{21}, 0)$ (答)

【地域Ⅲ】【医Ⅰ】

(1) $t = \cos 2x$ より

$$\sin^2 2x = 1 - t^2, \quad \cos^2 x = \frac{1+t}{2}$$

よって $f(x) = -t^2 - at + b + 1$ (答)

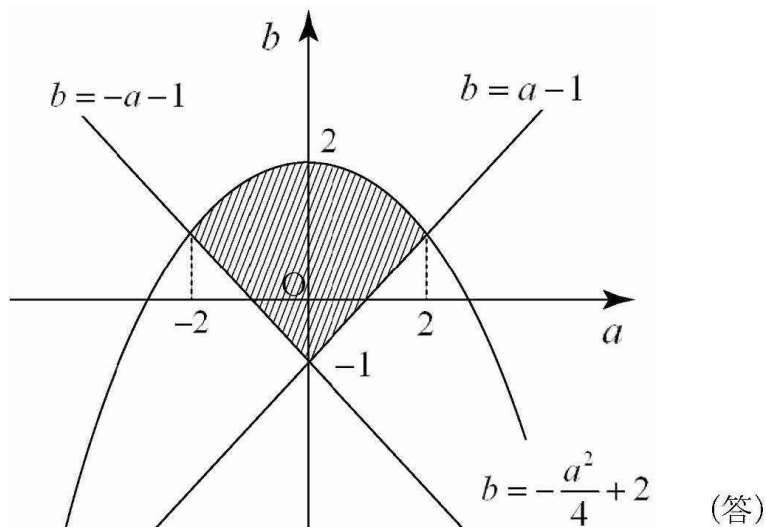
(2) $g(t) = -t^2 - at + b + 1$ とおくと

$$g(t) = -\left(t + \frac{a}{2}\right)^2 + \frac{a^2}{4} + b + 1$$

条件を満たすには、 $-1 \leq t \leq 1$ における $g(t)$ の最大値が3以下、最小値が-1以上になればよい。したがって、 a について

(i) $a < -2$ (ii) $-2 \leq a < 0$ (iii) $0 \leq a < 2$ (iv) $2 \leq a$

の4つの場合分けを考えることにより、以下の斜線部となる (境界含む)。



【地域Ⅳ】

(1) $f(2) = 3, f(3) = 15$ (答)

(2) 条件より $i_1 = 1$ であることがわかる。

2, 3, 4, ..., $2n$ の中から 1 つ選びそれを i_2 とする。($2n-1$ 通り)

このとき, i_3, i_4, \dots, i_{2n} に対する条件は

$$i_{2k-1} < i_{2k} \quad (k = 2, 3, \dots, n)$$

$$i_3 < i_5 < \dots < i_{2n-1}$$

であるので, 残った $2n-2$ 個の自然数を i_3, i_4, \dots, i_{2n} に条件を満たすように当てはめる当てはめ方は $f(n-1)$ 通り。

したがって $f(n) = (2n-1)f(n-1)$ (答)

(3) (2)より

$$\begin{aligned} f(n) &= (2n-1) \cdot (2n-3) \cdot \dots \cdot 3 \cdot 1 \cdot f(1) \\ &= \frac{(2n) \cdot (2n-1) \cdot (2n-2) \cdot \dots \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1}{(2n) \cdot (2n-2) \cdot \dots \cdot 4 \cdot 2} \\ &= \frac{(2n)!}{2^n n!} \quad (\text{答}) \end{aligned}$$